

いよいま グループ

気軽な雰囲気大切に

— 藤づるの会 —



△「楽寿園」でのふれあい

「藤づるの会」は、ボランティアセンターに登録してあった人たちが中心となって結成されたグループです。

当初は、センターに月2回集まり、おむつづくりをしていましたが、現在は、第1月曜日に老人ホーム「楽寿園」を訪ねて介護の手伝いをし、第4土曜日にはセンターへ依頼のあった仕事、例えばホームの老人の買物ボランティア等を、会員同志の日程を調整しながら手伝っています。この4月に開所した高齢者介護ホーム「やすらぎの家」にもボランティアとして参加しています。

また福祉まつりに参加したり、講演会や研究集会にも出席し勉強もしていますが、静岡市の老人施設「楽寿の園」を見学した時には、新しい老後の生き方についていろいろと考えさせられました。

センターへ集合した時は、意見や情報の交換などをして、楽しく気軽な雰囲気を大切にしたいと思っています。

問い合わせ 保健婦人センター内、ボランティアセンター ☎64-7100

富士の今と昔 ④9



🕒 1日平均1万8,000台の車が通行しています

👂 後方に広見公園の森が見えます



昭和三十九年ころの東名富士インターチェンジ（工事中）です。近くにお住いの鈴木鐵男さん（伝法一）のお話。「インターができる前は一面の麦畑で、ひばりがよくさえずっていたね。この付近は古くから開けたところで、土器の破片などもよく見つけたよ。東名高速道路が壁になって、富士おろしを防いでくれるので、昔に比べると随分暖かくなって大助かりだね」



昭和三十九年ころの東名富士インターチェンジ（工事中）です。



元吉原小学校の校庭には、SL機関車があります。一年生のお友だちが大好きな機関車を絵にかいてくれました。



わたしががっこうには、きかんしゃがあるんだよ。くろくて、大きくて、とつてもつよそうだよ。お友だちや先生ときかんしゃにのったんだよ。とてもたのしかったよ。



きむら あき



きかんしゃにのってあそびました。ぼくより大きいしゃりんびつくりしました。みんなできかんしゃにのって、ゆうえんちへいきたいな。



たかぎりゆうた

こちら編集室

今号の企画記事（ごみの減量）の担当Nさんは、取材のために東奔西走。ごみの減量は、まず広報広聴課からと、厳しい目をスタッフに向けています。ジュースの缶や、丸めた原稿を捨てるにもNさんのチェック。でも、必要ですね、家庭のごみのチェックマン。